

大分教育事務所訪問②-36 (計 109)

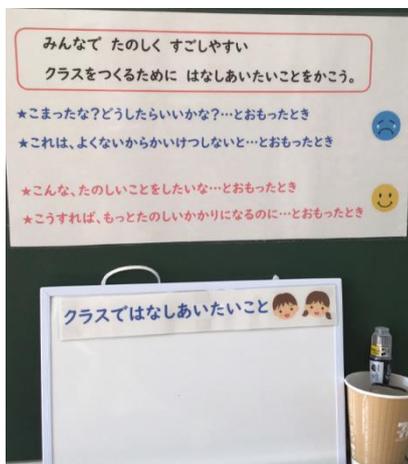
津久見市立堅徳小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、6月16日の第1回訪問において確認したことを明文化して、特に「これからやること」については、確実に実行していることです。そのため、取組指標にかかる教職員等の取組の測定・検証に加え、子どもの達成指標の測定・検証を細かく分析し、達成指標や取組指標を大幅に改善しているところです。実践を行っているからこそ課題が明確になり、さらに生じた新たな課題を解決しようとする成長する組織へとなっています。

今後は、「自考自学」について、これまで取り組んできたそれぞれの職員の思いを出し合いながら、3つの資質・能力を貫くような教科横断的な視点に立った資質・能力を学校全体で考えてみてはいかがでしょうか。その際は、教職員が何をするかということよりも、「子ども達にどのような力をつけるか」「何ができるようになるか」と、子どもを主語にした視点で協議をされると良いと思います。同様に、保護者や地域方とも「子どもにつけたい力」を中心に熟議を行うことで、より協働的な実践が行われると思いました。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp.47-53 (2)教科等横断的な視点に立った資質・能力 ①学習の基盤となる資質・能力」



授業から学ぶ

どの教室からも、学び合いや発表など子ども達の学びに向かう声が聞こえました。既習の積み重ねが教室に残り、本時の学びに活かされていました。

また、指導案の「振り返り」は、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして書かれていました。今後は、より具体的に表現することで、本時でつけたい資質・能力を明確にしてみたいかがでしょうか。そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と子どもが実

際に書いたものとの違いから学んだり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思いました。



NO.489 2021年11月 津久見市立堅徳小学校

自考自学

これまで学んだことを振り返り、自分で考える。わからないことは調べる。そして、友達に聴く。



NO.486 2021年11月 津久見市立堅徳小学校

学びあう子

友達の考えを知る。自分と比べると違いや共通点がわかる。みんなで考えると新たな方法もみつかるとわかる。



NO.487 2021年11月 津久見市立堅徳小学校

やさしい子

友達と学ぶ時は、相手と視線を合わせる。だから、気持ちも合ってくる。



NO.488 2021年11月 津久見市立堅徳小学校

あらわす子

自分の考えを表現できるのは、しっかり聴いてくれる友達がいるから。安心できるから。